

# 日本電子音楽協会第二回定期演奏会

1994年1月29日(土)

開場 5:30 p.m.

開演 6:00 p.m.

バリオホール

大河内俊則：心象風景

Voice：佐野 文彦

田村 文生：Clarinet のための "Lied"

Cl.：板倉 康明

鶴田 睦夫：浄 犯 妙 華 jô · bon · myô · ge

舞踏：花柳ゆかし

尺八：加藤 秀和

箏：池上 真吾

VIDEO：天利 道子

寺井 尚行：The Positive Sign

Sop. Sax：雲井 雅人

南 弘明：語りと電子音による「蜘蛛の糸」

お問い合わせ：

日本電子音楽協会

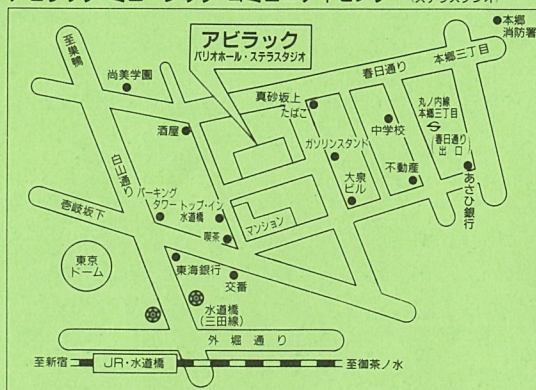
TEL 03-5997-5018

チケットセゾン

TEL 03-5990-9990

入場料 ¥3,000 (全席自由席)

アビラック・ミュージック・コミュニティセンター(バリオホール)



〒113 東京都文京区本郷1-28-4

☎03-3818-4151(代表)

JR「水道橋」駅 都営地下鉄・三田線「水道橋」

営団地下鉄・丸ノ内線「本郷三丁目」下車

日本電子音楽協会

# 第二回定期演奏会

1994年1月29日(土)

バリオホール

主催：日本電子音楽協会

## プログラム

### 大河内俊則：心象風景

Voice：佐野 文彦

### 田村 文生：Clarinet のための "Liederkreis"

Cl.：板倉 康明

### 鶴田 睦夫：浄 犯 妙 華 jô・bon・myô・ge

舞踊：花柳ゆかし

尺八：加藤 秀和

箏：池上 真吾

MIDI PAD CONTROLLERS：鶴田 睦夫

VIDEO：天利 道子

### 寺井 尚行：The Positive Sign

Sop. Sax：雲井 雅人

### 南 弘明：語りと電子音による「蜘蛛の糸」

朗読：荻野砂和子

## 作品解説

### 心象風景

心象風景という言葉があるかどうかはわかりませんが、landscape という英語があり、サウンドスケープという言葉をもとに、mindscape があっても良からうと思ひ、この曲を心象風景と名付けることにしました。

曲はある男の独白という形で進行し、コンピューターは彼を取り巻く状況として音楽を制御して行きます。

他人の日記をこっそり読むような楽しみを、ひっそりと感じていただければ幸いです。

### Clarinet のための "Liederkreis"

この作品は、演奏された音が30～40秒後に再び鳴らされ、更に30秒後に再現されるという形式を持った、30～40秒毎の音楽の反復と新たに加わる音との絡み合によって構成されており、3分30秒の時点ではリアルタイムで鳴らされる音及び0'30"、1'00"、1'30"、2'00"、2'30"、3'00"の音との「七重奏」（最終的には二十三重奏まで）というように30秒単位で音楽が集積されてゆきます。

仮に、音楽の形式又は音の構造が認識される時に、部分毎の関連付けの繰り返しを重ねながら最後に全体としての構造が明らかになるとすれば、それは曲頭で鳴らされた音が既に過去のものになってしまっている以上、聴衆個々の記憶の中での作業であり、その音がどう鳴っていたか、若しくは部分部分がどう聞こえたかによって、作品全体としての印象は全く違います。この作品ではその記憶されるべき時間を限定し、過去が繰り返されるという構造（形式）的要素から、記憶されたものがその存在意義を失いかける局面が生まれる可能性があります。しかしこの場合に於いても現在と過去の区別は明確にされている（具体的には、過去と現在の音との間の音色的変化など）という点、また作品に最初と最後が有るといふ点で、何ら普通の作品の構造認識と変わるところが無いとも言えますが、疑似的「過去」をより具体的に呈示している分だけ聴衆に対して記憶しないことを強制させることとなるかもしれません。

## 浄 犯 妙 華 jô・bon・myô・ge

人はその一生を母の胎内というこの上なく清浄なところで始め、やがてこのあらゆる可能性を秘めた生命は現世に現れて来る。しかし彼を待ち受けているものは家族や社会のしがらみであり、次第にその無垢な心身は犯されてゆく。しかしある時彼は自らに問う。自分とはいったい何なのか、人間とは何なのかと。すると、しがらみによって固まり始めていた思考の隙間から、ひとすじの光明が差し込んでくる。その先を辿っていくと、そこには人知を遥かに越えた宇宙の絶妙なる姿が静かにたたずんでいるではないか。それは今までに見たことも考えたこともない世界。——— 心と身体で感じなければ決して得ることのできない、まさに人と宇宙が一体となる法。彼は一年発起し、自分の中に埋もれている宇宙の大いなるエネルギーを捜す旅人となった。その姿にはもはや迷いはなく、まさに華麗に天空を舞う白鳥のようだ。

「浄」・「犯」・「妙」・「華」の四つの章より成るこの作品は、アコースティックな楽器の音と、あらかじめサンプリングしておいたそれらの音とがエフェクターを通して様々に変化しミックスされスピーカーより出力される仕組みになっている。日本的な音の世界とテクノロジーの融合の可能性を探った作曲者の第一作目であるが、舞踊と美術（この作品の場合は映像）が伴うことにより、作品のイメージがさらに拡がっていくことを期待する。

— 使用機材：AKAI S-900、S-950、ensoniq DP/4

### The Positive Sign

対をなすもの、つまり、S極・N極、高気圧・低気圧、遠・近、男・女。

閉鎖的な回路を越えた所で、開放的性格の+電流が流れるとか、モノポールの様なものも、また興味をそそる。

人と機械は、果たして、対になるのか？

言葉の定義は別にして、果たして、人は機械なのか？

機械が人になるには、果たして、いつ頃になるのか？

最近、どうも悩み事が多いのです。

### 語りと電子音による「蜘蛛の糸」

今回の作品は、芥川龍之介の短編小説「蜘蛛の糸」をもとに、昭和52年にアナログの電子音と朗読による作品を制作したものを、昭和63年にそれと全く同じ構成で、デジタルの電子音によって新しく制作し直したものである。

「蜘蛛の糸」の文章は終始単なる朗読として扱い、電子音と対等の音素材としての扱いはしていない。

極楽と地獄、釈迦と犍陀多はそれぞれ全く異なる世界に存在するが、蜘蛛の糸が両者の連絡を司る。しかし、犍陀多の無慈悲な心によって、その連絡は突如断たれることになる。

この作品の朗読の実演による公開は、今回が初めてである。

### 大河内俊則

1963年三重県生まれ。愛知県立芸術大学卒業。以後、SEAのメンバーとして作曲、製作活動中。最近の電子音楽作品：a ruling passion(ver.1992、ver.1993)、new torino、refRain、Aurola等。

### 佐野 文彦

愛知県立芸術大学声楽科卒業、同大学院修了。名古屋二期会に所属し、「フィガロの結婚」（フィガロ）、「魔笛」（パバゲーノ）、「ラ・ボエーム」（プノア）等、オペラ、演奏会に多数出演。同会退会後はクラシックの枠にとらわれず、ミュージカル、コンサート、ディナーショー等、様々な舞台に出演。

#### 田村 文夫

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。北村昭、近藤謙、松下功、南弘明の各氏に師事。仙台アジア音楽祭、ヴァレンティノ・ブッキ国際作曲コンクール（ローマ）、文化庁舞台芸術創作奨励特別賞、朝日作曲賞等に入賞し、各地で作品が演奏されている。現在、東京芸術大学大学院在学中。

#### 板倉 康明

東京芸術大学附属高校を経て同大学器楽科卒業、パリ私立音楽院、パリ国立高等音楽院卒業。東京芸術大学在学中に、フランス政府給費留学生として渡仏。パリを中心としてソロリサイタル、室内楽等の演奏活動を行う。帰国後はソリストとして各地でのリサイタル、レコーディング等で活躍。また現代音楽のスペシャリストとしても、Music Today、深新会、現代の音楽展等で度々演奏している。現在、東京芸術大学講師、聖徳学園短期大学講師。

#### 鶴田 陸夫

1956年鹿児島生まれ。1984年東京芸術大学大学院修了。藤島昌壽、北村昭、南弘明、黛敏郎の各氏に師事。第49回音楽コンクール作曲部門（管弦楽作品）入選。打楽器の作品が多く、各地で再演されている。現在、相愛大学講師。天城湯ヶ島町在住。

#### 花柳ゆかし

1954年東京生まれ。早稲田大学卒業。3才より花柳茂香に師事。'86年「朋の会」を結成し創作活動を開始。「1986年オンステージ新聞「新人ベスト5」」に選ばれる。'92年「SPACE FACTORY」を開始。'93年第10回ベテランズ陸上選手権大会開会式に出演および振付。ジャンルの異なるアーティスト達と、オリジナリティーの響きあう空間創りを目指し活動中。

#### 加藤 秀和

東京芸術大学大学院修了。日本音楽集団団員。国際尺八研修館（岡山県美星町）講師。竹の会、バンブーオーケストラ、BABBOBA 参加。

#### 池上 真吾

1966年神奈川県茅ヶ崎市生まれ。東京芸術大学邦楽科卒業後、NHK邦楽技能者育成会第37期卒。TV・ラジオ出演の他、作・編曲活動、定期的な種々のシリーズ・コンサート、ライブを行っている。現在、宮城合奏団団員、森の会会員、他。

#### 天利 道子

ビデオ・アート制作を中心に活動。現代音楽の作曲家とのコラボレーションも多い。鶴田氏とは昨年10月ルナミ画廊でのビデオ・インスタレーション「バイオタイド・Ⅲ」以来、二度目のジョイントです。

#### 寺井 尚行

昭和51年、愛知県立芸術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修了。作曲を石井敏氏・保科洋氏に師事。昭和61年から5年間、日本バンドクリニック委員会委員をつとめる。また、筑波科学万博開会式、山形国体開会式等のシンセサイザー音楽を手掛け、コンピュータ音楽のグループSEAでは、コンピュータと管楽器の融合を試みる作品を多数発表している。

現在、愛知県立芸術大学音楽学部作曲科助教授、Computer Music Laboratory SEA代表、現代からくりロボット研究会会員、日本吹奏楽学会会員。

#### 雲井 雅人

1957年富山県生まれ。国立音楽大学を経て、1983年ノースウエスタン大学修士課程修了。宗貞啓二、大室勇一、フレデリック・ヘムケの各氏に師事。第39回ジュネーヴ国際音楽コンクール・サクソフォーン部門で日本人初の銀メダルを受けた。

1984年に東京でデビューし、以後ソリストとして、京響、新日フィル、関西フィル、北京中央楽団等と共演している。

現在、愛知県立芸術大学および尚美学園短期大学の各非常勤講師。

CD 「雲井雅人サクソフォーン・リサイタル」キックレコード (KICC-99)

「シルクロード」BMGビクター(BVCC-2519)

#### 南 弘明

昭和9年生まれ。東京芸術大学専攻科修了後、西ドイツフライブルク音楽大学にて学ぶ。主な作品は「ソプラノと管弦楽のための挽歌」（国際現代音楽祭ワルシャワ大会入選）、「シンセサイザーと管弦楽のためのオリオン」、「電子交響曲 第1番～第4番」など。現在東京芸術大学音楽学部作曲科教授。

#### 萩野砂和子

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。ソロリサイタル、ジョイントリサイタルを中心とするコンサート活動の他、オペラ等のシアターピースにも多数参加。愛知県立明和高校音楽科講師。

「日本電子音楽協会第2回定期演奏会」セッティング資料 Ver.2

1994. 1. 25

◇日時：1994. 1. 29（土）、バリオホール

◇プログラム

- |                                      |                            |
|--------------------------------------|----------------------------|
| 1) 大河内俊則：心象風景                        | Voice：佐野 文彦                |
| 2) 田村 文生：Clarinet のための "Liederkreis" | Cl.：板倉 康明                  |
| 3) 鶴田 睦夫：浄 犯 妙 華 jô·bon·myô·ge       | 舞踊：花柳ゆかし                   |
|                                      | 尺八：加藤 秀和                   |
|                                      | 箏：池上 真吾                    |
|                                      | MIDI PAD CONTROLLERS：鶴田 睦夫 |
|                                      | VIDEO：天利 道子                |
| 4) 寺井 尚行：The Positive Sign           | Sax：雲井 雅人                  |
| 5) 南 弘 明：語りと電子音による「蜘蛛の糸」             | 朗読：荻野砂和子                   |

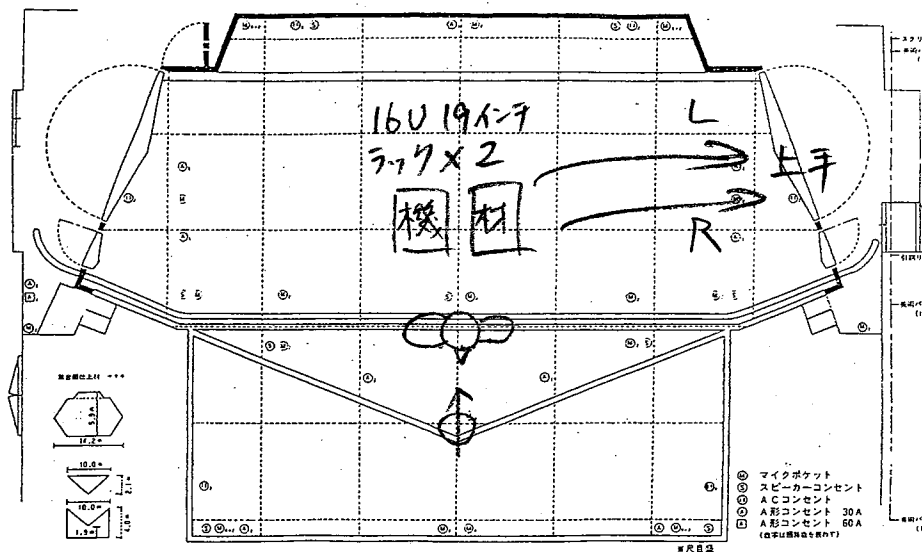
◇タイム・テーブル

- 9：00 - スタッフ入り。舞台・照明セッティング等開始。
- 9：30 - 機材搬入開始。機材セッティング。
- 10：30 - メイン・ミキサーへのつなぎ込み。テクリハ。
- 11：15 - 照明合わせなど。
- 12：00 - リハーサル、鶴田。
- 13：00 - // 、田村。
- 14：00 - // 、大河内。
- 15：00 - // 、寺井。
- 16：00 - // 、南。
- 17：00 - 会場整備。
- 17：30 - 開場。
- 16：00 - 開演。
- 20：00 - 終演予定。機材搬出など。

◇舞台：Cパターン（スリーサイド・ステージスタイル、278席）

◇大河内作品

VARI 舞台平面図 s/1/50



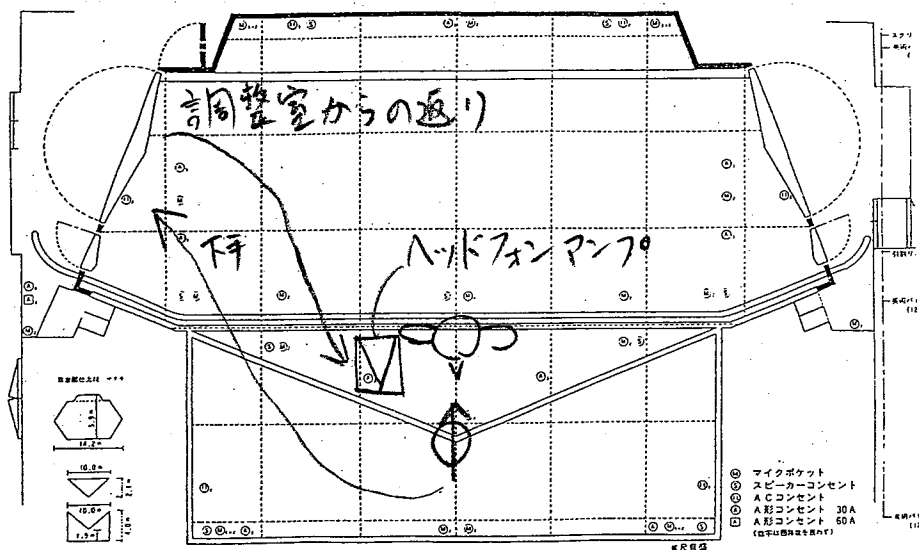
○メイン・ミキサーへのライン：2（上手側）

○椅子 1

○譜面台 1

※奏者用モニターあり

◇田村作品



○メイン・ミキサーへのライン：1（下手側、マイクのみ）

○調整室から舞台へのライン：1

○椅子 -

○譜面台 2

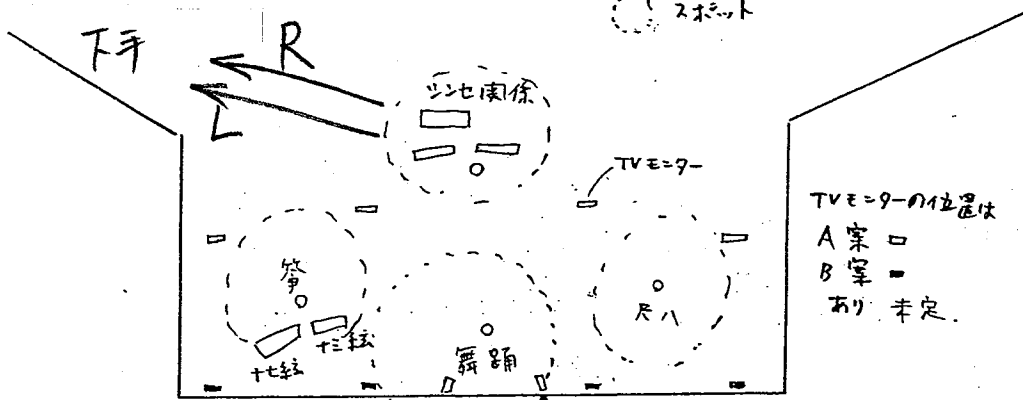
※調整室内でのセッティングあり：DAT1（ピン×2）

◇鶴田作品

照明

軸り暗転 スポット 3~4 程度

スポット

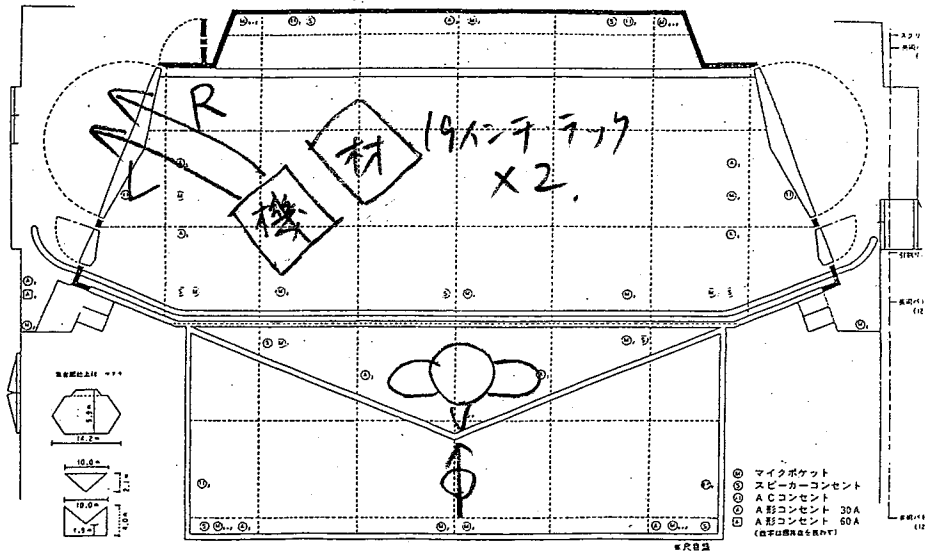


ピアノアンプアワー (被写体は 舞蹈家)  
 (2台使うかは未定)  
 ピアノ機材 (客席の 舞台をむ)

- メイン・ミキサーへのライン: 2 (下手側)
- 椅子
- 譜面台

◇寺井作品

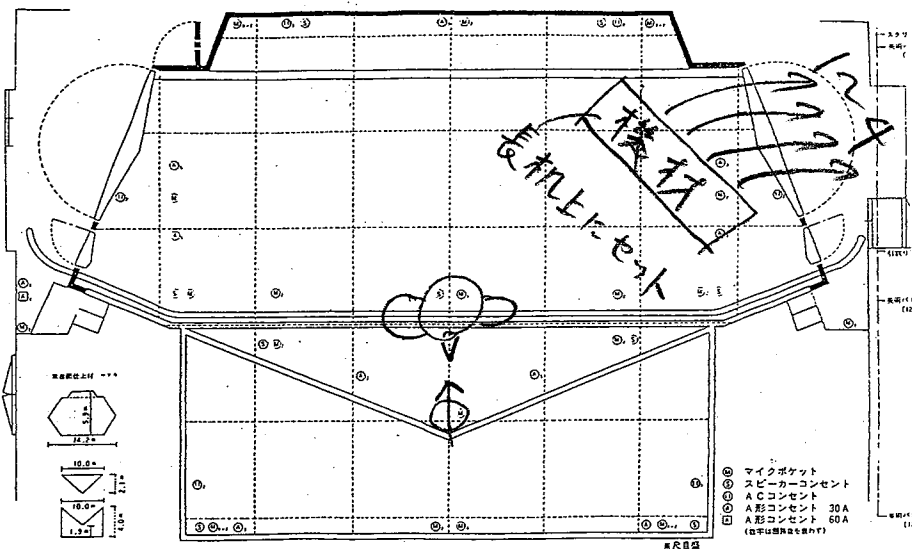
VARL... 舞台平面図 5/15



- メイン・ミキサーへのライン: 2 (下手側)
- 椅子 -
- 譜面台 2
- ※奏者用モニターあり

◇南作品

VARI... 舞台平面図 S/50



- メイン・ミキサーへのライン：4（上手側）
- 椅子 2
- 譜面台 2

◇ホールから借用するケーブル類

演目(演奏順)	マイク	マイク・ケーブル	キャノン・ケーブル	その他
大河内作品	持ち込み	-	2	
田村作品	1	1	1	調整室内でDAT立ち上げ用ケーブル DATは持込み、OUTはピン
鶴田作品	3	3	2	
寺井作品	持ち込み	-	2	
南作品	1	1	4	

※その他、録画音声信号用にキャノン2本をお借りしたい。



◇メインミキサー立ち上げ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
大河内		田	村		鶴田		寺井				南	
舞台より		M I C   舞台より	D A T 調整室内でパッチ		舞台より		舞台より				舞台より	

※田村作品で調整室から舞台に返す信号は、ミキサーを介しません。

※ // のD A Tは持込みますが、パッチ用のケーブルはホールより借用します。D A Tのアウトはピンで出ています。

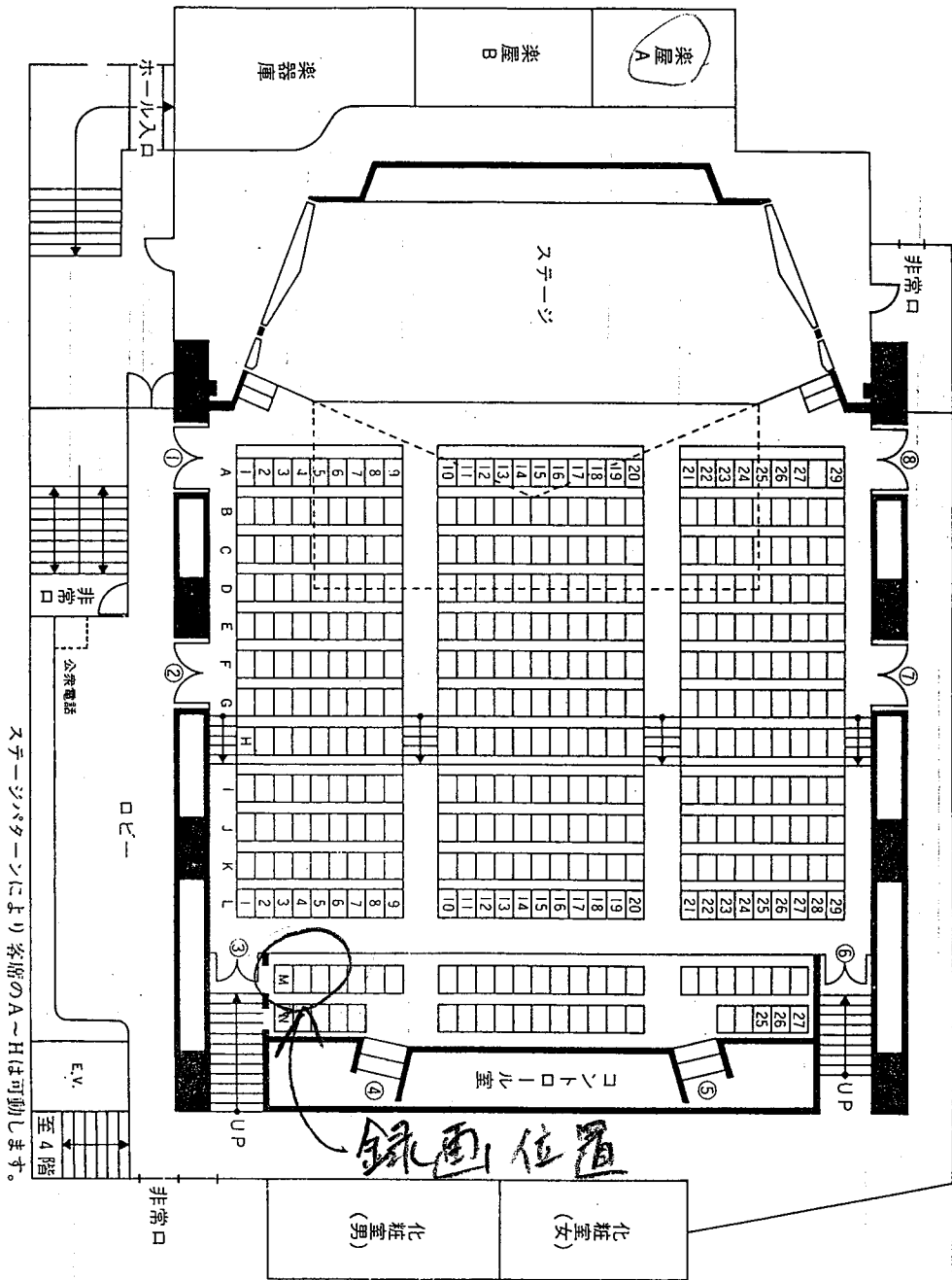
※南作品のみ4 c h再生で行います。

◇録音／録画

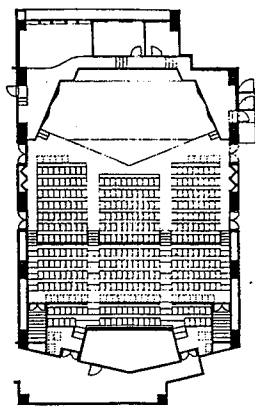
- ・上記信号にエア・モニター用のマイク信号をプラスしたものをD A Tで録音します。D A Tはホールの物を借用します。
- ・同じ信号を分岐して、録画位置に送って下さい。録画位置は別紙参照。

※スピーカ・チェック用にC Dを流したいと思いますので、リハの段階でC Dが鳴るようにしていただきたい。本番ではC Dは使用しません。

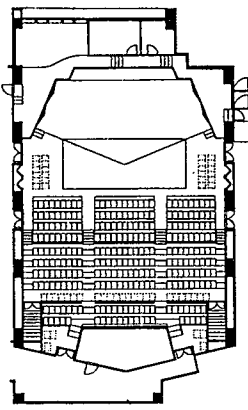
Aパターン(394席) 3階(可動)・4階(固定)



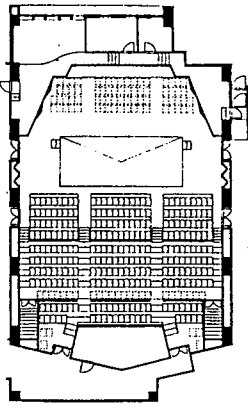
Bパターン(コンサートスタイル)354席



Cパターン(スーパーサイド・ステージスタイル)278席



Dパターン(ファミリースタイル)278席



Eパターン(クラシックスタイル)191席

